

DESCENTE



デサントグループ
CSRレポート2020

DESCENTE LTD.



はじめに

デサントグループは、社会との持続的な相乗発展のために、CSRに対する考え方や取り組みについてステークホルダーの皆様にお伝えし、ご理解いただくことを目的として「デサントグループCSRレポート」と「Webサイト」を作成しています。

「Webサイト」は、CSR活動全般について網羅的に掲載し、検索性に配慮しています。

本書「デサントグループCSRレポート」は、自社で重要度が高いと判断した内容をISO26000（国際標準化機構が定めた、組織の社会的責任に関する国際規格）を参照しご報告するとともに、SDGs（持続可能な開発目標）に通じる考え・取り組み・試みについても、より多くの皆様にお読みいただきたいテーマを取り上げています。

本書が、読者であるステークホルダーの皆様にとって、デサントグループが果たすCSRへのご関心・ご理解の一助となれば幸いです。

企業理念

企業理念は社会における「DESCENTEの存在意義」であり、社会との関わりを表したビジョンです。

『すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを』

スポーツ本来の「体を動かす楽しさ」、「競い合う楽しさ」を提供することで
一人一人のいきいきとしたライフスタイルの創造に貢献します。

デサントCSR基本方針

1. デサントグループは、企業理念に基づき、スポーツを通じて人々の身体と心を豊かにし、健全なライフスタイルの創造に貢献します。
2. デサントグループは、経済・社会及び環境との関わりの中で求められる期待に、事業活動を通じて応えることによって、社会とともに持続的な相乗発展を目指します。
3. デサントグループは、「デサントグループ倫理綱領」に基づき、国内外において人権を尊重し、関連法令及び国際ルールを順守しつつ、高い倫理観と向上心を持って行動します。

デサントのCSR活動

誠実な
企業活動

人権の尊重

従業員との
かかわり

環境との
調和

公正な
事業慣行

お客様との
かかわり

地域社会との
かかわり

デサントグループ CSRレポート 2020：目次

トップメッセージ	2
環境保全への積極的な取り組み	3
サプライチェーンマネジメント	5
コーポレート・ガバナンスとコンプライアンス	7
従業員とのかかわり	9
お客様とのかかわり	12
地域社会とのかかわり	15

国連グローバル・コンパクトの参加者として



デサントは、理念である「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野10原則を支持し、参加者として責任あるリーダーシップを発揮すると同時に、これから当社グループが一層のグローバル化を進めるうえで、基本となる行動指針として捉えていきます。そして、持続可能な地球社会の実現に貢献できるよう、より一層、積極的に活動していきます。

報告の対象期間

2019年4月から2020年3月までを対象期間としています。



持続可能性ある社会の実現と 共に成長し続けるデサントグループへ

株式会社デサント
代表取締役社長

こせき しゅういち
小関 秀一

2019年12月、新型コロナウイルス（COVID-19）の発生により、私たちの日常生活は一変しました。当たり前だったスポーツを遊ぶ日常が立ち消え、外出も人と触れ合うこともできない、誰もが予想もつかない日常がやってきました。

東京2020オリンピック／パラリンピックに限らず、世界中・日本中のさまざまなスポーツ大会が延期・中止となり、社会に暗く大きな影を落とし、人々の気持ちも塞ぎ込んでいます。当たり前にはできると思っていたスポーツができない、遊べない、そんな今だからこそ、改めて私たちデサントグループが、社会や多くの人々に対し、スポーツを通じて届けられる“元気”、“勇気”、“希望”、“感動”といった価値・存在意義の大きさを強く感じています。

「誠実」な企業としての仕組み創り

デサントグループでは、COVID-19の感染拡大に伴い、社内外への感染拡大抑止と従業員の安全確保のため、2020年2月の中国のグループ会社事業所での対応に始まり、日本国内でも4月7日の緊急事態宣言から原則として従業員は在宅勤務へ切り替えました。事前にインフラ整備を進めるとともに、新型コロナウイルスBCPを作成したことで企業として国や自治体からの要請に誠実に応え、約95%の在宅勤務を実現し感染予防・拡大防止に努めた結果、幸いなことに従業員が罹患することなく現在に至っています（2020年5月末時点）。また、韓国では従業員の感染予防に留まらず、今まで韓国での事業成長を支えてきた全国加盟店を対象に支援金を提供し、店舗をサポートしました。

社会／地域との「調和」

私たちは、たくさんのスポーツを遊ぶ機会を提供することで社会に貢献してきました。国内で実施している、未来の宝である子どもたちにスポーツの機会を提供する「すこやかキッズ スポーツ塾」は、2006年の開始から延べ3万8千人以上の子どもたちが参加しています。また子どもに限定することなく、東京オフィスが立地する「目白ロードレース」への特別協賛、生涯スポーツでもあり、見るスポーツとしても人気がある日本でのLPGAツアー「デサントレディース東海クラシック」の共催、日本・韓国での「マスターズ水泳大会」、中国でのヨーロッパツアー「WGC-HSBCチャンピオンズ」の協賛など広く社会や地域の活力を支えています。

スポーツの力によってこれからの社会課題を解決していくために、スポーツをすることで従業員の健康増進を進める企業として「スポーツエールカンパニー」の認定を2年連続で受けました。また、スポーツの価値を後世に引き継ぐためのレガシーを醸成する「Sport in Lifeプロジェクト」への参画により、スポーツが生活の一部として、誰もが遊ぶことのできる活力ある社会／地域創りにも取り組んでいます。

持続可能なモノ創りへの「挑戦」

2020年3月より、当社グループの国内工場のひとつである水沢工場は、使用電力をすべて再生可能エネルギーに切り替えています。2021年4月までに再生可能エネルギー由来の電力を使用する事業所を拡大していきます。また、CO₂の削減活動をさらに積極的に進めるため、活動の対象事業所を日本国内グループ全事業所に拡大し、第三者認証として、「SGS社GHG検証」を始めました。まだまだ私たちデサントグループが実施していることは小さな取り組みにすぎません。しかし、この小さな取り組みを積み重ね、メーカーとして私たちのサプライチェーン全体に広げていくことが、持続可能なモノ創りにつながると信じています。

スポーツを遊ぶ楽しさを「創造」

2020年3月に“TEAM DESCENTE”という新たなプロジェクトをスタートしました。デサントグループがサポートする世界レベルのトップアスリートと一緒に、スポーツを遊ぶ楽しさをたくさんの人々と一緒に創り上げていくプロジェクトです。第一弾として、COVID-19感染症への対策で外出制限を守っている皆さまのために、トップアスリートが考案した「おうちで遊べるスポーツ」動画を配信しています。

これからのデサントグループ

2019年8月に公表した中期計画「D-Summit 2021」に則り、ESG視点からのマテリアリティの特定を完了し、デサントグループの「サステナビリティ方針」、マテリアリティ解決のための具体的なアクションプランの立案作業が進んでいます。現在、グループとして抱える主要な事業課題の解決だけではなく、社会やステークホルダーの皆さまが抱える共通課題を再認識すること、そしてその課題を、事業を通じて解決していくことがこれからのデサントグループの存在意義・価値であり、社会やステークホルダーの皆さまへの一番の貢献になると考えています。

2020年7月
株式会社デサント
代表取締役社長
小関 秀一

環境保全への積極的な取り組み

デサントは、環境経営の指針として「デサント環境基本理念・デサント環境方針」を定めるとともに、CSR室を主管部署として環境保全活動を推進し、環境負荷・環境リスクを低減するとともに、それらの発生を予防するための行動を積極的・継続的に行っています。

環境基本理念と環境方針

▶「デサント環境基本理念」

デサントは、地球環境保全が最重要課題の一つであることを認識し、企業活動のあらゆる面で積極的・継続的に環境保全に配慮して行動する。

▶「デサント環境方針」

デサント環境基本理念に基づき、環境保全活動を推進し、環境負荷・環境リスクを低減し、その発生を予防するための行動を積極的・継続的に行う為に、下記の事項を定める。

1. 環境関連の法律・規制・協定等を遵守し、環境保全に取り組む。
2. 省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物の削減に、全ての領域で取り組む。
3. 事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で、目的・目標を設定して全員で取り組み、その結果を見直して継続的改善・向上を図る。
4. 環境負荷低減型の商品開発、商品づくりを行う。
5. 環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努める。
6. 環境教育を実施し、全従業員の環境方針の理解と、環境に関する意識向上を図る。
7. 環境基本理念、環境方針及び環境保全の実施状況については、必要に応じて公開する。

環境活動体制を強化

2008年からスタートしたCO₂削減の取り組みで、2008年には工場を除く国内事業所で1,092t排出していたCO₂を2014年に802t、2018年は655tと着実に削減してきました。

今後さらなる削減を目指し、株式会社NTTファシリティーズ

が供給するグリーン電力の導入を、2020年3月よりデサントアパレル株式会社水沢工場から始め、2021年4月までに、従業員50名以上の日本国内の全事業所にて行います。

CO₂排出量記載方法の変更

従来は排出削減量を明確にするため、自社集計のうえ、基準年の排出係数を使用してCO₂排出量を計算していました。2019年度より公表数字の信頼性を担保するため、SGSジャパン株式会社による検証に変更しました。

それに伴い、集計対象については国内12サイトのSCOPE1および2の電気・ガスの直接排出としています。このため、本レポート掲載の排出量は2019年度分のみ記載といたしました。

2020年度は上記の通り順次、各事業所での再生エネルギーによる電力切り替えを行い、2021年度を基準年として中期的な削減目標を設定し、継続的なCO₂削減に取り組んでいきます。

AFIRM加盟

デサントは、2019年12月に国際的な制限物質リスト管理団体「Apparel and Footwear International RSL Management Group (AFIRM)」に加盟しました。

デサントは国際的な基準管理団体に参画することで、業界内での情報共有や連携を進め、環境と安全により配慮した製品づくりを行うとともに、サプライチェーンにおける規制化学物質のリスク管理と、コンプライアンス向上を図ってまいります。

2019年度 国内事業所別CO₂排出量

単位:t

事業所名	CO ₂ 排出量	電力	ガス
東京オフィス	470.8	425.0	45.8
大阪オフィス	336.1	197.6	138.6
彩都 DISC	196.4	168.8	27.6
札幌営業所	6.0	6.0	—
仙台営業所	6.9	6.9	—
名古屋営業所	13.4	13.4	—
広島営業所	2.4	2.4	—
福岡営業所	5.5	5.5	—
水沢工場	140.2	140.2	—
吉野工場	72.7	72.7	—
村岡工場	105.1	105.1	—
西都工場	220.5	220.5	—
合計	1,576.0	1,364.0	212.0

電力:電力消費に伴うSCOPE2のCO₂排出量

ガス:都市ガス使用に伴うSCOPE1のCO₂排出量

環境保全の取り組み事例

▶水沢工場の電力を100%再生可能エネルギーに切り替え

2020年3月1日、『デサント』ブランドで展開する「水沢ダウン」の生産工場であるデサントアパレル株式会社の水沢工場の使用電力100%を、再生可能エネルギーに由来する電力に切り替えました。この電力は株式会社NTTファシリティーズから購入する、太陽光や風力などを利用したグリーン電力で、発電時や熱利用時にCO₂をほとんど排出しません。

当社は2019年8月に公表した中期経営計画「D-Summit 2021」に沿ってサステナビリティへの取り組みを強化しています。他の事業所で使用する電力についても順次、再生可能エネルギー由来とし、さらなる環境負荷の低減を実現していきます。



▲デサントアパレルの水沢工場



▲再生可能エネルギーのイメージ(グリーン電力を供給する発電所を特定するものではありません)

快適なスポーツ環境づくりに貢献する商品開発

▶『アンブロ』ブランドで断熱がコンセプトのサッカースパイクを開発

2019年5月、デサントジャパン株式会社が、断熱効果の高い塗料「GAINA」を搭載したサッカースパイクを開発しました。夏場の人工芝グラウンドは表面温度が70℃近くまで上昇し、プレーヤーの足裏が熱ダメージを受けます。「GAINA」搭載スパイクはシューズ内への熱侵入量を減少させ、足裏への熱伝導を大幅に遮断します。靴底へ「GAINA」を塗布し、従来品とほぼ同じ重さで高い断熱効果を発揮します。

「GAINA」は、ロケット打ち上げ時の大気との摩擦熱から機体・機器を守るJAXAの断熱塗料技術を応用して、株式会社日進産業が開発したものです。



搭載アイテム
「ACR シーティー
KTS HG」▶

▲サーモグラフィによる熱侵入量の違い。
左が「GAINA」搭載スパイク、右は従来品

▶『デサント』ブランドでグローブ型暑熱対策アイテム「CORE COOLER」を開発

2019年9月、デサントジャパン株式会社では、シャープ株式会社およびウイングート株式会社と共同で、グローブ型の暑熱対策アイテム「CORE COOLER」を開発しました。この商品は、体温を調整する血管がある手のひらを適温(12℃)^{*1}に冷やし、体の中心部の温度である深部体温の上昇を抑えます。

あらかじめ適温に冷やしたシャープ独自の「TEKION」蓄冷材^{*2}を、グローブ型のアタッチメントで固定して手のひらを冷やし、深部体温を抑制して暑熱対策効果をもたらします。グローブ型は蓄冷材を握り続ける必要がなく、ドリンクを飲む、物を掴むといった手の動きが妨げられにくいので、様々なシーンで使用できます。

※1 温度が低すぎると血管が収縮し、十分な冷却効果が発揮されないため12℃が適温とされる(検証機関:独立行政法人 労働安全衛生総合研究所とシャープ)

※2 「TEKION」蓄冷材は、液晶材料の研究で培った技術を応用したものです



▲「CORE COOLER」を装着した状態。蓄冷材は手のひら側に入る

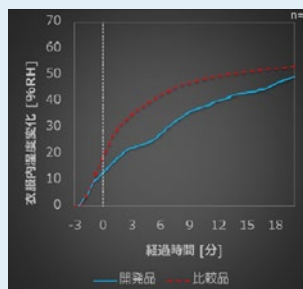


◀赤い部分が
「エアロストリームパネル」

▶背中蒸れを軽減する「エアロストリームバックパック」を開発

バックパックを背負うと衣服と密着して蒸れるときがありますが、背中とバックパックの間に空気を流す空間をつくれば、蒸れを軽減できます。デサントジャパン株式会社が独自開発した「エアロストリームパネル」は、空間を確保するために高さのある凹凸をつくり、それらを背中と触れる面積が少なくなるよう配置しました。

同パネルを搭載した「エアロストリームバックパック」の機能性比較を当社の研究開発拠点「DISC OSAKA」で行った結果、背部温度や湿度の上昇を抑えることが分かりました。トレーニングなどのカジュアルシーンはもちろん、PCポケットの内蔵でビジネスシーンにも対応する汎用性の高さも特長です。



▲衣服内の湿度変化を比較。
ブルーが「エアロストリームバックパック」

サプライチェーンマネジメント

デサントは、サプライヤーの皆様と公正なパートナーシップを築き、人権や労働条件の改善、環境保全に協力し、共に発展していきたいと考えます。そのために、すべての仕入先と「デサント・サプライヤーCoC(取引行動規範)」の誓約を交わし、また工場のCSR監査も実施しています。

2019年度第三者機関によるCSR監査結果

2019年度は新型コロナの影響で計画していた中国の2工場が実施できず、9工場に対してCSR監査を実施しました。指摘された項目に関して仕入先および工場と連携して、是正計画を練って改善に取り組みました。

▶ 監査項目

1. 児童および未成年労働
2. 強制労働
3. 安全衛生
4. 結社の自由
5. 差別
6. 懲戒慣行
7. 労働時間
8. 賃金
9. 環境
10. コンプライアンス

▶ 国別実施工場

日本:4/インドネシア:4/ベトナム:1

▶ アイテム別の不適合比率

生産アイテム	2019年度監査 実施工場数	不適合が全項目の 10%未満	不適合が全項目の 10%~19%	不適合が全項目の 20%以上
ウェア	5	1	1	3
シューズ	1	0	0	1
アクセサリー	3	2	1	0
計	9	3	2	4

2011~2019年度累計

▶ 国別実施工場

中国:68/ベトナム:22/ミャンマー:13/インドネシア:12/タイ:4/
バングラデッシュ:2/カンボジア:1/日本:8 合計130

▶ アイテム別の不適合比率

生産 アイテム	年度別 工場数	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	不適合が 全項目の 10%未満	不適合が 全項目の 10~19%	不適合が 全項目の 20%以上
		年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度			
ウェア	11	19	11	14	10	11	12	4	5	52	30	17	
シューズ	1	2	4	1	1	1	1	0	1	3	3	6	
アクセサリー	0	5	4	1	2	1	1	2	3	12	6	1	
計	12	26	19	16	13	13	14	6	9	67	39	24	

今後のサプライチェーンマネジメントの方向性について

私たちメーカーにおけるモノ創りは、サプライヤーの皆さんの協力があって初めて持続性ある供給が可能となります。現在のモノ創りにおける課題をお互いに共有し、改善し続けてくために、デサントサプライヤーCoCと自主監査シートを全工場まで対象を拡大し、工場管理データベースを新設し、多部署間での速やかな情報共有が可能な体制づくりに取り組んでいます。また、第三者監査基準も、社会的な要請に対応する為、よりグローバル基準に近い環境面を含めた項目まで強化・拡大することで、その結果を踏まえてサプライヤー、工場と当社の3者による改善ミーティングを実施し、より魅力ある品質の高い新たな付加価値のあるモノ創りにも挑戦してまいります。

デサント・サプライヤーCoC

(取引行動規範)

当社の取引行動規範について、世界スポーツ用品工業連盟(WFSGI)の行動規範に基づき次の内容で決めました。

1. 法律の遵守
2. 労働条件
 - ① 強制労働
 - ② 差別
 - ③ 組織及び団体交渉の自由
 - ④ 賃金
 - ⑤ 労働時間
 - ⑥ 権利と休暇
 - ⑦ 児童労働
 - ⑧ 健康と安全
 - ⑨ 嫌がらせあるいは虐待
3. 環境
4. 地域社会との係わり合い
5. 企業内の独自の規範
6. 証明
7. 遵守

各工場において、従業員の安全と健康を守る設備の数々



▲寮



▲ロッカー



▲ファーストエイドキット



▲消火器



▲火災報知器



▲化学薬品保管庫

コーポレート・ガバナンスとコンプライアンス

ステークホルダーの皆さまの信頼にお応えするための「コーポレートガバナンス・コード」への対応、企業理念実現のために「創業の精神」、「デサントグループ倫理綱領」を定め、「内部統制」体制を構築し、各取り組みを相互連携させることで、グループとして持続性ある企業価値の向上を目指しています。

コーポレート・ガバナンス

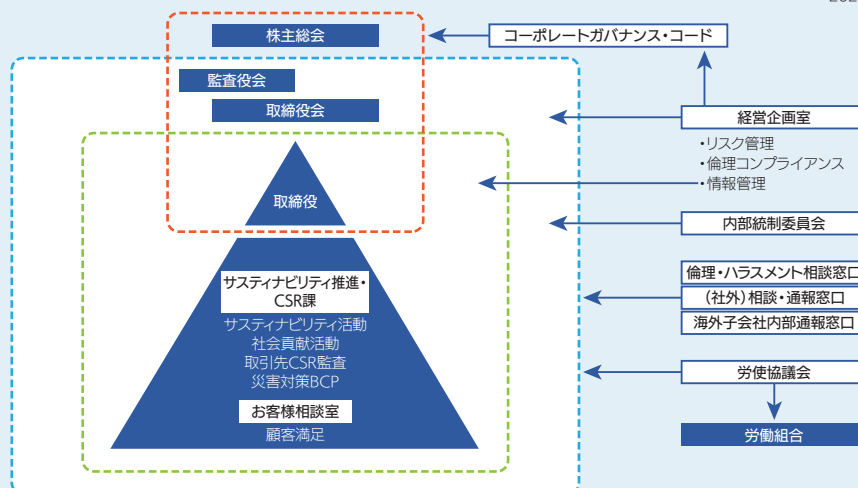
企業理念である「すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを」の実現のために、法令や企業倫理に従い、誠実で公正かつ透明な事業活動を展開することが企業の社会的責任であると認識しています。コーポレート・ガバナンスをより機能させるために外的環境の変化に合わせ柔軟に体制や取り組みを進化させることが、継続的な企業価値向上において、経営上、最も重要な課題のひとつと考えています。

その実現のために「SPIRIT OF DESCENTE」(創業の精神)

を「行動指針」とし、当社グループの原点としてグループ各社に浸透させるとともに、「デサントグループ倫理綱領」を定め、消費者の皆様、株主の皆様をはじめ、お取引先様、地域社会、従業員など様々なステークホルダーとの良好な関係を引き続き構築して参ります。また、新たに取締役会も6名中2名を社外取締役とし、より透明性の高い経営体制のもと、株主総会、監査役会、会計監査人など法律上の機関も加え、継続的にコーポレート・ガバナンスの充実を図っています。

CSR体制図

2020年4月より



リスク管理

当社に重大な影響を与えるリスクの発生防止と、万が一発生した際の損害、影響の最小化、ならびに事業の継続性と業務適性の確保を目的に、「リスク管理規程」「リスク管理運用規則」を定めています。これらに則り、リスク委員会ではリスク全般の可視化を行い、予防と発生時の対策を毎年見直し、特に重要性の高いリスクを監視対象リスクとして対策の実施状況を担当取締

役が監視し、取締役会に報告しています。

2019年度の抽出リスクは41件、うち監視対象リスクは5件、重大インシデントにつながるリスクの発生はありませんでした。また、子会社におけるリスクについても同様に毎年抽出し、グループ全体のリスク管理強化を図っています。

情報管理

「企業秘密管理規程」「企業秘密管理基準」を制定するとともに、内容をわかりやすくした「企業秘密ガイドブック」を全管理職に説明のうえ、管理・徹底を図っています。また、デサントが保有する個人情報及び特定個人情報の適正な保護を実現することを目的として「個人情報保護規程」「個人情報保護規則」に方針を定めています。毎年、一斉に「全社の個人情報棚卸し」を実施することで、個人情報の属性・件数・管理者・保管状態などを

把握しています。

2019年度は、不正に利用された等の連絡は入っていませんが、お客様情報の紛失が2件発生しました。機密情報の漏洩はありませんでした。再発防止に向けて、管理職に情報管理e-ラーニングを実施し、管理職が部署内で徹底することにより管理強化を図りました。

コンプライアンス

企業活動において根本となる姿勢を「デサントグループ倫理綱領」に定める一方で、社員一人ひとりが、働く上で指針とすべき基準を「デサント倫理行動基準」として定めています。これらの順守を推進するために倫理推進委員会を通じて、健全で品格に富む企業風土の醸成に努めました。職制を通じた解決が難しい問題、あるいはほかの社員の倫理に反する行動などの相談に対処するため、日本国内従業員用には、相談しやすい環境整備を目的に保健師をメンバーに加えた「倫理・ハラスメント相談窓口」、社外には法律事務所を相談窓口として設けていま

す。また、海外子会社従業員向けにも相談窓口を多言語対応にて外部に設けています。そのほかにも、デサント、デサントジャパンでは3か月に一度、デサントコリアは毎月、入社した従業員を対象に、コンプライアンス面を中心としたCSR研修を実施しています。

2019年度は、組織サーベイも実施しました。結果については、役員も含めた社員全員で共有し、来期の研修内容に活かしていきます。



▲2019年10月に実施した CSR研修



▲2019年12月に実施したコンプライアンス研修

●2019年度 倫理推進委員会活動

開催	5・8・10月
主な内容	各部署の倫理的問題に対するルールづくりと全社研修の立案
今年度のテーマ	労働時間管理とパワーハラスメント
分科会	2つのグループに分かれてテーマについて検討。開催は随時。
11月～2020年1月	従業員向けコンプライアンス研修を実施
2月	販売員向けe-ラーニングを実施

従業員の安否確認

日本国内のデサントグループでは、セコム安否確認システムを導入しています。震度5強以上の地震発生時には自動的に、震度5弱以下の地震や台風・集中豪雨などの自然災害時には必要に応じて安否確認メールを発信します。定期的に安否確認訓練も実施し、早期の安否確認と必要な初期支援、対象者への緊急メールの一斉配信など、事業に従事していない時間でも従

業員の安全・安心を第一に考えています。2019年は、昨今の海外事情などを勘案し、海外駐在員、海外出張者まで対象を拡大しています。

また、このシステムは緊急時の連絡ツールとしても使用可能であり、対象者への緊急メールの一斉配信や管理職など一部階層への連絡手段として利用します。

新型コロナウイルス感染症への対応について

国や自治体からの要請に対して、従業員の安心・安全面から速やかな在宅勤務への切り替えに向けたインフラ整備を行いました。在宅勤務を原則として、オフィス出社は必要最低限

の事前申請制とし、出勤率を5%程度に抑え、社会の一員として感染の拡大防止に努めました。販売職は災害特別休暇扱いとし、賃金保障100%にて対応しました。

グローバル化に対応した人材育成、女性のさらなる活躍を推進する「才職健美推進委員会」など、人材育成およびダイバーシティを中心に、新たな施策に取り組んでいます。

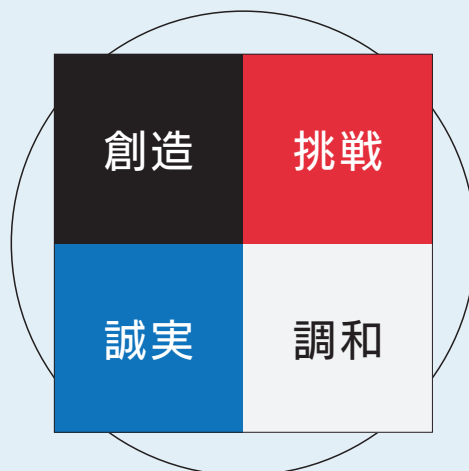
創業の精神「SPIRIT OF DESCENTE」に基づく行動指針

創造/CREATION

豊かな発想力は、いつの時代でも発展の原動力である。
センスを磨き、日々の仕事に明確な判断を下せる力を養え。

誠実/INTEGRITY

信頼するものには徹底して任せる。
人の誠意に対しては、人の誠意で応えよ。



挑戦/CHALLENGE

変化の時にこそ、チャンスがある。
新しいものを創り出す仕事なら失敗も覚悟のうちに入れよ。

調和/HARMONY

人間が人間を知って初めて商売は成り立つ。
力を集めて前向きに“協走”せよ。

2019年度の教育・研修内容

2019年度は「管理職の世代交代」「海外事業の推進を支援」「専門知識・思考能力を高める」を主な目的に研修を実施しました。加えて、2019年度からスタートした新人事制度の理解・浸透を図る研修を実施しました。また、社員が進んで研鑽に励み、キャリアを形成していくことも積極的に支援しています。

研修メニューのポイントは、1) 新人事制度の浸透と教育・育成の強化、2) 幹部人材の育成（選抜外部派遣）、3) ビジネス力（職能）強化研修、4) グローバル人材の育成、5) 自己啓発支援、です。

●新人事制度をスタート

デサントの創業の精神（SPIRIT OF DESCENTE）である「創造・挑戦・誠実・調和」をより強く体現し、行動できる人材を育成するため、2019年度から新人事制度をスタートしました。

集合研修での座学やディスカッションを通じて、管理職は「新制度の趣旨理解／目標設定力の向上／能力評価のレベル合わせ」、一般社員は「新制度の趣旨理解／目標設定方法や各等級に期待される行動レベル」を社員間で共有し、新しい人事制度への理解を深めました。



▲管理職の研修

2年連続で「スポーツエールカンパニー」に認定

デサントジャパン

2019年12月、デサントジャパン株式会社は、スポーツ庁より2年連続で「スポーツエールカンパニー」の認定を受けました。この制度は、従業員によるスポーツ活動の支援や、スポーツ促進への取り組みを実施する企業を認定し、その周知によってビジネスパーソンのスポーツ実施率の向上を目指すとともに、従業員の健康管理を考える企業の社会的評価の向上を図ります。

当社が「ヘルスUPチャレンジ」として実施する「ひと駅歩こう」「階段使おう」の推奨、運動会の開催、クラブ活動やスポーツ活動の支援など、従業員の健康増進を意識した取り組みが評価されたものです。



▲認定ロゴマーク

5年連続で「東京都スポーツ推進企業」に認定

デサントジャパン

2019年11月、デサントジャパン株式会社が「東京都スポーツ推進企業」の認定を、5年連続で受けました。これは、「スポーツ都市東京」の実現に向けて2015年度から始まった「東京都スポーツ推進企業認定制度」に沿い、従業員のスポーツ活動を促進する取り組みや、スポーツ分野での支援を行う企業を東京都が認定するものです。

当社では、特別協賛する市民マラソン大会「目白ロードレース」、および全国の児童を対象とした運動教室「すこやかキッズスポーツ塾」を、スポーツ庁の基本計画「子供のスポーツ機会の充実による運動習慣の確保と体力の向上」にも通じる活動として

実施しています。これらの取り組みが、スポーツを遊ぶ楽しさを提供している、と評価されました。



←認定ロゴマーク

ダイバーシティ

女性の活躍はダイバーシティの試金石（現在の組織内に女性社員がいても、その活躍が不十分であれば、多様な人材の活躍は望めない）という位置付けで、まずは女性の活躍推進に注力し、以下の目標・行動計画を立案、その人材育成に取り組んでいます。

目標

- 2020年までに女性管理職者数：15名（15%）以上、女性基幹職者数：30名以上
※2018年7月：数値目標「女性基幹職20名」より上方修正
- エリアコース入社総合職L（リーダースタッフ）グレード在籍者：30名以上

行動計画

- ① 女性活躍推進を含むダイバーシティは経営方針であることを継続的に発信
- ② 女性管理職・基幹職候補の育成
- ③ 女性管理職・基幹職候補の母集団形成

目標達成に向けた取り組み事例

- ① 女性活躍推進を含むダイバーシティは経営方針であることを継続的に発信
 - 2016年4月より専任担当（ダイバーシティ推進担当）を人事総務部内に設置
 - 社内プロジェクト型の女性活躍推進委員会（才職健美）を設置（2019年10月より発展的解消）
 - 社内広報誌「ダイバーシティニュース」を発刊

- 管理職向けに「女性部下のマネジメントセミナー」を開催（全管理職126名）
- ② 女性管理職・基幹職候補の育成
 - L1グレード：公開型の「女性管理職候補育成研修」へ派遣（10名）
 - L2グレード：キャリアプラン形成を目的とした「Lグレード研修」の実施（昇格者男女全員25名）
- ③ 女性管理職・基幹職候補の母集団形成
 - 【エリアコース総合職女性社員向け】
 - M1グレード：リーダークラスを目指すための「リーダーシップ・ディベロップ研修」を実施（14名）
 - M2グレード：ビジネススキル習得を目的とした「1UP研修」を実施（25名）

(経営幹部)部長以上	MG	管理職研修
(管理者)課長・SP (新任課長その他候補者)		メンター・メンティー制度
(リーダー層)	L1	女性管理職候補育成研修
	L2	Lグレード研修
(中堅層)	M1	リーダーシップ開発研修
	M2	1UP研修
(新人)	E	新人研修 (ダイバー理解・キャリアプラン)



▲管理職向け「女性部下のマネジメントセミナー」



▲女性管理職候補育成研修

第11回 全国SCロールプレイング大会

デサントジャパン

デサントジャパン株式会社では、販売職スタッフ（セールスコーディネーター/SC）が全国の店頭でお客様に接しています。2009年より継続して開催する同大会の2019年度テーマは、「顧客に繋がる接客～商品設営以外の会話力～」。全国の店舗で働くSC40名による予選を勝ち抜いた14名が、2019年11月に東京で開かれた決勝大会に進み、優勝・準優勝・特別賞・新人賞を、それぞれ1名ずつ受賞しました。



▲決勝大会に出場した14名の表彰

防災訓練

デサントジャパン

2019年度は、「避難場所・避難経路の確認と理解」を目的に、東京オフィスでは8月、大阪オフィスでは11月に防災訓練を実施しました。その内容は次のとおりです。

- ①避難訓練：地震発生時の避難場所、避難経路を理解する
- ②帰宅困難者対策訓練：帰宅困難者となった際、社内で発生し得る問題について、グループでの討議を通して理解を深める



▲いずれも大阪オフィスでの防災訓練▲

上海デサントでの取り組み

上海デサント

上海デサントでは、スポーツを遊ぶ楽しさを実感する様々な取り組みを行っています。2019年度は、「THE BEST FOR THE BEST」をテーマに掲げた上海マラソン大会に参加しました。

練習を重ねフルマラソンに挑む

20回目を迎える上海マラソン大会（2019年11月開催）は、国内外から約38,000名が参加する大規模な大会です。参加枠はフルマラソンのほか5kmほどの健康マラソンコースなども設定され、観光スポットの外灘（ワイタン）をスタート地点に静安寺や新天地など上海の名所を走りながら巡る、子どもから高齢者まで誰でも楽しめる大会です。

上海デサントからは社員3名がエントリーし、休日や平日の朝など1回に7～20km程度の練習を積み重ねて挑みました。当日は気温が高く、マラソンには少し困難な気候でしたが、これまでの練習の成果を発揮し、またボランティアや沿道に集まった多くの市民の応援に元気をもらい、完走しました。

大会への参加がもたらした変化

今回のマラソン大会への参加は社員たちにとって、運動習慣の持続に加え、自身の健康管理に気を遣うなど生活習慣の改善にもつながりました。その結果、お客様のスポーツに対す

る気持ちや自身の仕事の効率・モチベーションなどに関し、深く考えるようになりました。

上海デサントは今後も様々なスポーツのイベントや取り組みに対して、積極的に参加していきます。



▲参加した社員は全員が完走を果たす

持続可能性への挑戦：「モノを創る力」と「売り場を創る力」

デサントの競争力の源泉はスポーツウエアの開発力です。お客様のご要望を聞き、それにお応えするために技術と発想力で、常に新しい商品を開発します。商品をお届けする売り場は、単なる販売の場ではなく、お客様との重要な接点であり、デサントからの情報の発信地でもあります。デサントは新鮮で、驚きがあり、楽しく買い物ができる、そんな売り場を創ります。「モノを創る力」と「売り場を創る力」をこれからも磨き続け、お客様の豊かなライフスタイルの実現を目指していきます。

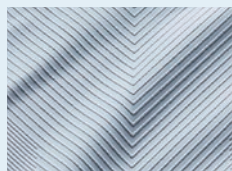
モノを創る力

ISPOアワードGold Winnerを4年連続で受賞

デサント

2020年1月、ドイツで開催された「ISPO (イスポ) ミュンヘン2020」で、『デサント』ブランドの2つの商品が、それぞれISPOアワードのGold Winner およびWinnerを受賞しました。同ブランドによるGold Winner受賞は、2017年から4年連続、今回で合計9度目です。

Gold Winner受賞の「スリーディー フォーム ラミネーション アクティブ シェル ジャケット」は薄手のレインジャケットで、特殊な発泡プリントにより肌面に生地が張り付く不快感を減らし、ドライタッチ性能を発揮しました。Winner受賞の「ソーラー サーモ インシュレーティッド ジャケット」は、背中に配置した電熱シート「モバイルサーモ」により、3段階の温度調節が可能です。



▲裏面の特殊発泡プリント

● ISPOアワードとは

「ISPO」は、約2,800社が出展、8万人以上が来場する世界最大規模のスポーツ用品の国際総合見本市で、2020年で50回目を迎えた。ISPOアワードとは、コンセプト・デザイン・技術・環境への配慮などの項目について、厳正な審査により選ばれた優れた商品に贈られる賞。



▲ISPOアワード Gold Winnerの表彰式

◀デサント
「スリーディー フォーム ラミネーション アクティブ シェル ジャケット」
(アウトドア部門レインジャケットカテゴリー)
2020年9月より販売開始の予定



◀デサント
「ソーラー サーモ インシュレーティッド ジャケット」
(スノースポーツ部門ジャケットカテゴリー)
2020年9月より販売開始の予定

「German Design Award 2020」Winnerを受賞

デサント

2019年12月、ドイツのデザイン賞「German Design Award 2020」で『デサント』ブランドの「スイススキー レプリカ ライトウェイトジャケット」がWinnerを受賞しました。「最新の素材を利用し、非常に軽量だが高い保温機能を保ち、革新的で機能性の高いジャケット」との評価が受賞の理由です。

なお、このアイテムは前述した「ISPO」でも、2019年にISPOアワードWinnerを受賞しています。



◀デサント
「スイススキー レプリカ ライトウェイトジャケット」
(スポーツ、アウトドアアクティビティーズ アンド レジャーカテゴリー)

● German Design Award とは

1953年に設立されたドイツデザイン評議会 (German Design Council) 主催の、国際的なデザイン賞。世界各国で開催される他のデザイン賞を受賞した作品で、なおかつ、その中から評議会が推薦したもののみノミネートされる、世界的に権威のある賞。毎年、およそ5,000件の作品が推薦される。

第3回 品質事故情報展を開催

～事故から何を学ぶのか～



株式会社デサントおよびデサントジャパン株式会社は、2019年10月10日・11日に東京オフィスで、10月24日・25日に大阪オフィスで「第3回 品質事故情報展」を開催しました。毎年1回のペースで開催し3年目を迎えた2019年も、当社の「モノを創る力」の関係者として取引先である商社・素材メーカーの方々に加え、社内のMD（マーチャンダイザー）、デザイナーや仕入れ担当者を対象に開催しました。

株式会社デサント R&Dセンター 機能開発部機能・品質開発課 課長
大石 晃三

Q: 開催の目的は?

当社商品で発生した最近の事故事例の発生経緯、原因や対策を振り返り、実際の商品や解説パネルを使用して展示し教訓にすることで、関係者が一丸となって再発防止と、さらなる品質向上に向けて取り組むことを目的としています。

当社では品質事故の要因を、①企画設計不良、②生産不良、③技術限界、④お客様と作り手の認識差の4種類に区分しています。多くのブランドを取り扱うデサントでは、担当者は担当ブランドの発生事故についてのみチーム内で共有し改善につなげていますが、ほかのブランドで発生した事故事例も共有することで、グループ全体での品質向上を目指します。さらに、商社・素材メーカーの方々にもご参加いただき、品質管理の重要性を共有し品質向上と一緒に取り組みたいと考えています。

Q: 今回の新たな情報(展示)は?

SDGsに関する情報展示を加えました。商品開発、材料調達および製品調達において、染色時に水を大量に消費しないなどの環境に配慮した素材を採用したり、人体・環境に悪影響を与える加工薬剤の排除や、3R (Reduce・Reuse・Recycle) への取り組みは、ますます重要になるでしょう。

またスポーツウエアの多くは、材質的にはプラスチックに分類されるため、マイクロプラスチック問題に関する注目も高まってきています。日本では、洗濯による化学繊維の流出量の測定方法の検討に入ったばかりですが、今後、ルールなどが整備されていくにつれて環境配慮型の商品づくりが求められてきます。

Q: 品質事故ゼロに向けて

生産不良による品質事故をなくすために、社内ではMDやデザイナーが所属するマーケティング部隊に対して、品質および商品安全性の社内監査を実施しています。特にチェック機能が正常にはたっているかを、監査します。仕入先様に対しては、生産の各工程でのチェックポイントを設定し、定期的に品質管理監査を実施しています。

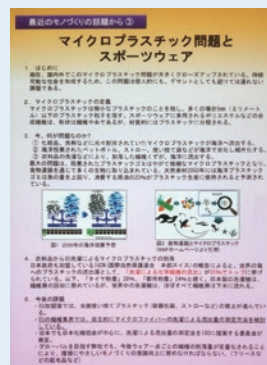
Q: 来場者様からの評価は?

他社事例の多くは自社でも発生する可能性があるため、今後、起こるかもしれないミスを事前に防ぐ効果が見込まれる、との評価を得ています。新たに展示したサステナビリティ、SDGsについても関心が高く、来場者様の会社自体も注目していることがわかりました。

開催3年目になりますが、継続開催を望む声を多数いただいていますので、今後も続けていきます。もっと関連情報を増やすことや社会全体で注目あるいは課題とされている内容など、これからの「モノづくり」として、より意味のある展示にしていきたいと考えています。



▲解説に、一心に耳を傾ける商社・素材メーカーの方々



▲新たな情報展示:
SDGs(上)とマイクロプラスチック問題(下)

「DISC OSAKA」が第32回「日経ニューオフィス推進賞」を受賞

デザント



▲柱や壁を減らした開放的な執務スペース

2019年8月、研究開発拠点「DISC (DESCENTE INNOVATION STUDIO COMPLEX) OSAKA」が第32回「日経ニューオフィス推進賞」を受賞しました。2018年7月、大阪府茨木市に開設した同施設の“世界一、速いうエアを創る”というコンセプトに沿い、スピード感あふれるモノ創りやクリエイティブな発想ができるように、柱や壁を減らした吹き抜けの執務スペースや見通しのよいガラス張りの試験室などを備えています。さらにフリーアドレス制により部署を越えて社員の交流を促

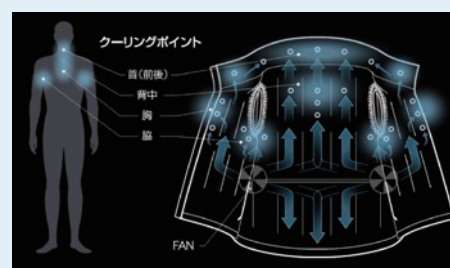
すなど、ハード・ソフトの両面で新たなモノ・コトを創造する点が評価され、受賞に至りました。

同施設が生んだユニークな商品のひとつが、猛暑対策アイテムの送風ファン付きベスト「空流JAC(クールジャック)」です。株式会社マキタのファンユニット・バッテリーと帝人フロンティア株式会社の高密度織物を採用し、ファン使用時の膨らみを抑えつつ効率的に送風できるのが特長です。このような外部との協業も含めて同施設では、より機能的でユニークな商品開発を継続していきます。

空流くうりゅうJAC



▲「デザント 空流JAC」
(ユニセックス)



▲人間生理学に基づくクーリングポイントに適した通気孔を効果的に配置

売り場を創る力

水着アーカイブ展示

デザントジャパン

2019年12月から2020年1月にかけて、アリーナショップ東京で『アリーナ』ブランドの歴史ビジュアル展示を実施しました。2020年1月に発売を始めた競泳用トップモデル水着「アルティメット・アクアフォースX」の認知度アップと予約拡大のため、代表的な水着とその開発技術の変遷をたどり、お客様に改めてブランドへの興味を持っていただくのが目的です。お客様からは「こんな水着があったとは」「懐かしい」「アリーナの歴史が分かり、うれしい」などのコメントを頂戴しました。商品の歴史やその背景をアピールすることで、お客様のブランドおよび最新モデルへの関心を高める、効果的な店頭PRとなりました。



▲歴代モデルを2階ウィンドに展示

▲外からも、ひと目で展示がわかるように「AQUAFORCE HISTORY」と明記

第32回「全国優秀店舗」表彰式

デザントジャパン

2019年で32回目となる「全国優秀店舗」表彰式を開催し、19の売場と新人賞1名を表彰しました。この表彰式は、さらなる顧客満足度向上のため、デザントジャパン株式会社に所属する約1,000名のセールスコーディネーターの能力向上やモチベーションアップが目的です。全国の約350の売場の中から、店頭売上高、1人あたりの売上高などの定量面に加え、お客様へのアプローチ、店頭施策の計画・実行・検証の状況、チームワークなどの定性面も加味して選出しました。売場の中には5年連続で受賞する店舗もあるなど、高いモチベーションの維持で、連続した受賞につなげていく店舗も増えています。



▲2019年5月に行われた表彰式

スポーツを通じたイベント活動やキャリア教育により、未来を担う子どもたちや学生、地域住民の皆様の身体と心を豊かにし、健全なライフスタイルの創造に貢献しています。

スポーツ体験型プログラム

「すこやかキッズ スポーツ塾」2019年度の活動

デサントジャパン



「すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを」

この事業は、子どもたちにトップアスリートとのスポーツ交流を通して、体を動かす楽しさを知ってもらおうと開催されました。

2007年からすこやかキッズスポーツ塾実行委員会を立ち上げ、文部科学省～スポーツ庁の後援を受け続けながら、全国の子どもたちにスポーツすることの楽しさを約40,000人の子どもたちに届け、2017年で10年を終えたのを契機に、2018年からは持続的な発展を目指しました。

教

多くの子どもに楽しさを
教え運動の魅力を伝えました。

短期指導型

学校訪問型

合宿型

講座型

おしえ から はぐくむ

スポーツを愛する
すべての人々の想いに
アシストし続けます

育

様々な運動を通して
子どもの成長過程を
大事にし応援しました。

中期指導型

講座型：豊島区放課後子ども教室-スキップ- <ランニング教室>



▲楠 康成氏



▲佐藤 慧太郎氏

概要

主催者：豊島区教育委員会事務局 教育部
放課後対策課 児童支援グループ
豊島区文化商工部 学習・スポーツ課

塾長：
楠 康成 氏
(陸上2000mSC [Steeple Chase：
障害物競走] 日本最高記録保持者、
阿見アスリートクラブ所属)
佐藤 慧太郎 氏
(阿見アスリートクラブ所属)

日程と場所

2020年2月5日、12日、19日：
豊島区立目白小学校 校庭
当初、予定していた3月4日は
新型コロナウイルス対策による休校で
中止
参加人数：68名(延べ125名)

▶総評

豊島区の「放課後子ども教室」は学習やスポーツによって地域住民との交流を図り、子どもたちの豊かな人間性を育む事業です。学校の運動備品が揃っていたことにより、塾長お二人が所属するスポーツクラブでの練習方法も、様々なバリエーションを取り入れたプログラムとなりました。最終日のみコロナウイルス対策で中止となりましたが、ミニハードルでの練習や短距離走、障害物リレーのほか、脳から体への指令の伝達力を高める巧緻性(こうちせい)トレーニングなども、楽しく受け入れられたと感じています。「放課後子ども教室」の所長からは『様々な動きを体験することで、子どもたちも「走る」ことに興味をもっていました。速く走るポイントを体得した子どもたちは自信に満ちていました。』との感想も頂戴しました。目白小学校は、デサント東京オフィスとは目白通りをはさんだ場所にあるものの、普段なかなか会えない地域の子供たちにデサントを知ってもらえる、またとない機会でした。



▲まずは、全員で準備運動から



▲スタート待ち“グループで競う”



▲ハードルを使った障害物リレーを佐藤先生が指導

合宿型:2020ウインターキャンプみなかみ <スキー合宿>



▲宮下 征樹氏

概要

主催者：すこやかキッズスポーツ塾実行委員会
 後援：スポーツ庁、東京都豊島区、群馬県みなかみ町
 協力：デサントジャパン株式会社
 塾長：^{みやした まさき}宮下 征樹氏
 (デサントBM グローバルブランディング
 ウィンター所属、全日本スキー技術選手権大会
 第38・39回優勝)

日程と場所

2020年2月22～24日：群馬県みなかみ町
 藤原スキー場
 参加人数：23名

▶総評

今回は、「すこやかキッズスポーツ塾」初の冬季開催となりました。大半がスキー初心者である小学生を対象に、ポールを使って競技のエッセンスを導入した指導内容に沿い、より早く上達を図るスキー教室を、現地スキースクールのご協力により実現。1日目は用具やウェアの説明を受けたのち実際に着用。2日目は基本操作を習得してリフトを使って練習し、夜はスキー競技・大会のビデオと当日の全員の滑りを鑑賞。3日目は実際の競技で使用しているポールを用い「チャレンジ記録会」と称してタイムレースを行いました。

子どもたちは選手が着用するウェアの説明で目を輝かせ「着てみたい!」と言ったり、スキーのビデオを真剣に見て日本選手が登場すると声援を送ったり、みんなの滑り方にコメントするなど、とても楽しんでいる様子でした。天然の雪に恵まれ、団体生活の中で体を動かす楽しさを経験し、デサントの各種ウェアにも触れていただく機会となりました。



▲ショートポールで練習



▲全員で記念撮影

学校訪問型:岡山県倉敷市真備地区の小学校3校 <リズム体操・マット運動>



▲田中 光氏

概要

主催者：すこやかキッズスポーツ塾実行委員会
 後援：スポーツ庁、倉敷市教育委員会
 協力：デサントジャパン株式会社、明石S.U.C.
 塾長：^{たなか ひかる}田中 光氏
 (アトランタオリンピック 体操日本代表)

日程と場所

2019年12月11日：倉敷市立岡田小学校
 11日：倉敷市立川辺小学校
 12日：倉敷市立箭田小学校
 参加児童数：300名
 *田中塾長の実演は参加児童に加え他学年の180名も見学

▶総評

真備地区は、2018年7月に発生した西日本豪雨(平成30年7月豪雨)被災地のひとつです。倉敷市教育委員会のご協力のもと、同市に本社を置く明石S.U.C.(株式会社明石スクールユニフォームカンパニー)協力のもと、実施の機会をいただきました。訪問したときは、他校の校庭内に建てられたプレハブ校舎と共同使用の体育館での実施となり、往復にスクールバスを利用するなど、いまだに大変な様子でした。各校とも子どもたちが元気にあいさつし、積極的にリズム体操やマット運動に参加。からだを動かす楽しさとは、仲間と共に学ぶ大切さだ、と感じてもらえました。



▲川辺小学校の授業

遠隔での出張授業（ICT×キャリア教育プロジェクト）

デサント

2019年12月、遠隔でのキャリア教育として、横浜市にある東洋英和女子大学の2・3年生10名に対する授業を実施しました。掲げたミッションは、「マラソンやジョギングをより楽しむウェアとグッズを考える」です。

実施後のアンケートでは、先生から「大学生にとってアイデアを出すことの重要性やその訓練は、ある程度これまでの学校生活で経験しているが、職業によって『何を重視しているのか、アイデアの中のどこを見るのか』という点について、あまり理解できていない部分があったように思う」「今回のような『社会で働く人』からアドバイスをもらえることは、非常に貴重な経験となり、インターン前の学生にとっては良い練習の機会になった」とのコメントを頂戴しました。

また、学生たちからは「限られた授業の時間の中で課題に取り組むことは、社会に出てからの重要なスキルと感じた」「企業に向けて実際に企画をプレゼンすることは、新鮮。企画は、実現性まで考えるととても大変な仕事」「作る人の立場を考える機会にもなり、仲間とアイデアを共有したことで、商品をイメージできた」などの感想が届き、創る楽しさや企画の実現の過程を実感していただきました。

ミッション

マラソンやジョギングをより楽しむための「スポーツウェア」や「グッズ」を考えてみよう！

どんな人？



アスリート



ダイエットや健康に向けた趣味



友達や恋人と一緒に



運動が苦手な人

どんなことに困っている？



何ができるとより楽しいかな？



▲ミッション解決に向けた企画を考えプレゼンする



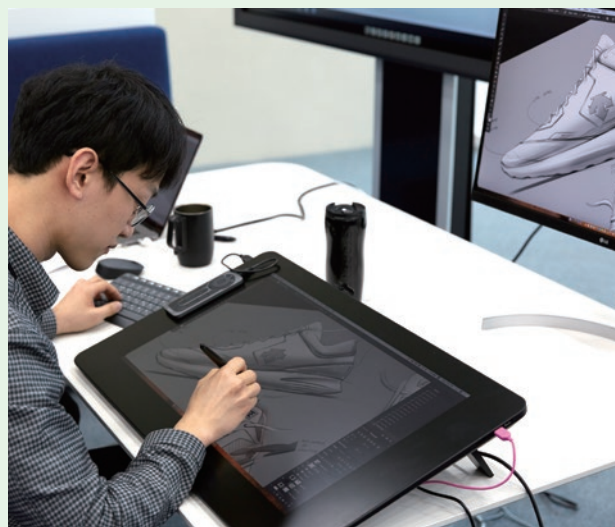
▲学生たちのアイデアに真剣に応える

「DISC BUSAN」でグローバル競争力のあるシューズを開発

デサントコリア



▲「DISC BUSAN」の外観



▲シューズを設計するデザインラボ

2018年10月、韓国・釜山に開設した「DISC BUSAN」では、世界中から優秀な人材を集めて、ユーザーを惹き付けるスポーツシューズの研究開発に取り組んでいます。

主な設備として、コンクリート・ウレタン・アスファルト・砂利という4種類の表面を備えた400mトラックのほか、ユーザーの潜在ニーズを探る消費者研究室、シューズが人体に及ぼす影響を

検証する人体力学研究室、素材開発を行う素材テスト室、ラスト（シューズの木型）をつくる製品開発室などを備えます。

ユーザーのニーズを取り込み、求められる機能、デザイン嗜好などトータルの観点から、スポーツシューズの概念を再定義するような独自商品を生み出していきます。

「Sports in Lifeプロジェクト」に加盟—企業理念を体現し、スポーツを通じた心身の健康増進に取り組む

デサントジャパン

当社は、従業員の健康管理や健康増進のためのスポーツへの取り組みを推進しています。2020年1月にスポーツ庁が推進する、スポーツを行うことが生活習慣の一部となることを目指す「Sport in Lifeプロジェクト」に加盟しました。また同加盟団体から構成される「Sport in Lifeコンソーシアム」*にも参画し、

スポーツ実施率向上の取り組みとして、当社は「スポーツ推進宣言」を掲げました。

※「Sport in Lifeプロジェクト」の趣旨に賛同し、2020年東京大会のレガシーの創出のため連携した取組を促進することにより、国民のスポーツ実施に向けた大きな推進力や相乗効果を生み出し、スポーツ実施者の増加につなげていくことを目的とする加盟団体で構成。



Sport in Life

「スポーツ推進宣言」

- 私たちは、「すこやかキッズスポーツ塾」の活動を通じて、スポーツをする機会が減り、親の世代よりも体力が低下している子どもたちにスポーツの楽しさを体験する機会を提供していくことを宣言します。
- 企業理念である「全ての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを」をより多くの従業員が体現し、自らスポーツすることで心身の健康増進に取り組むことを宣言します。

日本ブラインドマラソン—「OSAKA EKIDEN in 長居 2019」第22回全国視覚がい者駅伝大会に協力

デサントジャパン



▲駅伝スタート

デサントジャパン株式会社は、視覚障がい者の体力向上、社会参加の促進ノーマライゼーションの実現を進める日本ブラインドマラソン協会への支援を継続的に行っています。2019年11月4日(祝・月)には、同協会が主催する「OSAKA EKIDEN in 長居」が開催され、晴天のなか、参加した55チームすべてが、4区間20kmを無事、完走を果たしました。レースにはオリンピック・パラリンピアンもゲストランナーとして参加。レース終了後には記念撮影に応じるなど、参加者との交流に笑顔が絶えず、スポーツの楽しさを感じさせる大会でした。当社は、様々な人が、スポーツに親しむ機会の創出を提供できるよう、今後も協力・連携していきます。

韓国での取り組み—デサントコリアスポーツ財団の活動

デサントコリア

2013年に設立されたデサントコリアスポーツ財団(Descente Korea Sports Foundation)は、韓国では初となるスポーツ専門の非営利団体です。持続可能性のある本格的なスポーツサービスを国民に提供するために、「誰もがスポーツを楽しめる環境づくり」を使命に、有望なスポーツ選手の支援、スポーツ施設の建設、スポーツ活動の支援など、スポーツコンテンツを活用した様々な社会貢献事業を続けています。

2019年度においては、従来のMOVE SPORT PARK(スポーツ施設新設)、MOVE SPORT(学校生活におけるスポーツ活動の支援)、MOVE KIDS(スポーツを通じた子どもの健全な成長支援)、MOVE SHARE(社会福祉施設などの支援)の他にYOUNG MOVERS/MOVE SUPPORTの2つのプログラムに取り組みました。



▶韓国内の大学と連携し、スポーツを通じた健全な教育のサポートを行っています。2019年度は国内の10の大学において352のスポーツ教育に関するプログラムを実施。8000人以上の参加者を得られました。

韓国内におけるネットワークを活用しKCF(Korea Cycling Federation)等のスポーツ関連連盟・支援団体へスポーツ用品の寄付を行っています。2019年度は280百万KRW相当のスポーツ用品を寄付しています。▶



「中仏文化の春」へ協賛

寧波ルッコ

寧波ルッコは、現地で毎年開催されている「中仏文化の春」へ協賛を行いました。このイベントは、フランスの文化のみならず音楽の楽しさを広げるために開催されている音楽祭を通して

文化の振興と国際交流に貢献することを目的としたもので、今年も5,000枚のオーダーメイドTシャツの協賛や、参加者向けの商品も提供しました。

DESCENTE



コーポレートシンボルマークの由来

DESCENTEとは、フランス語で「滑降」の意味。
スピリットマークは、スキーの基本技術である直滑降、斜滑降、横滑りを表現しています。
つねに最もすぐれたものに目を向け、時代の要求を先取りし、
積極的に製品化していく果敢なデサントスピリットのシンボルです。



コミュニケーション・オン・
プログレス

国連グローバル・コンパクトの原則の実践
状況および国連の様々な目標の支持につい
て、この**コミュニケーション・オン・プログレス**
を通じて報告しています。

内容に関するご感想・ご意見を歓迎します。

本レポートに関するお問い合わせ

株式会社デサント サステナビリティ推進・CSR課
TEL:06-6774-0327/FAX:06-6774-2605

当社CSRサイト

<http://www.descente.co.jp/jp/csr/>